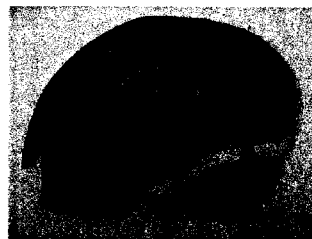


～メッセージ～
みなみの風にのせて



《ことばときこえの教室》をご存知ですか。

北校舎の3階にあり、ドアを開けて正面がことばの教室、右側がきこえの教室になっています。



《きこえの教室》について

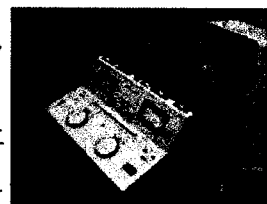
《きこえの教室》には、1年生1名、2年生1名、4年生2名が在籍しています。

交流学級で学習しながら、日に1～2時間ずつきこえの教室に来て、一人一人に合わせた指導や教科の補充指導などを受けています。

子どもたちは補聴器をつけて学習していますが、「人工内耳」といって、手術をして音を聞くための機械を頭の中に入れていた子どももいます。そのため、耳や頭にボールが当たったり、たたかれたりすると大きなダメージを受けることとなります。最も気をつけなければならないことの一つです。また、水や湿気に非常に弱いため雨に濡れないように注意が必要です。汗をかき季節には、こまめに汗をふいたり補聴器に汗を吸い取るカバーをつけたりするよう指導をしています。このことは、学級・学年の子どもたちにも、お互いに気をつけて生活するよう、機会を捉えて話をしています。

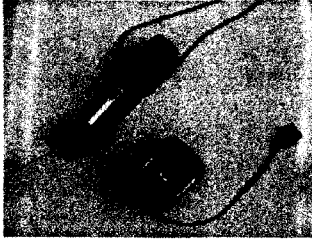
《きこえ方》について

難聴の人にとって音や言葉はどのように聞こえているのでしょうか。聞こえには個人差があるので、検査器（オーディオメーター）からの検査音の聞き取りも様々です。それで、「しき」を「いき」と聞き違えたり、「かす」を「かつ」と聞き違えたりすることがあります。音は聞こえていても、内容については、しばしば聞き違えるのです。



難聴の子どもは授業中、教師の口元をじっと見つめています。それは、口の形から教師が何をしゃべっているかを読み取るためなのです。教師が発する声、すなわち『音声の情報』だけではわかりにくい場合が多いので、教師の口の形という『視覚の情報』をあわせて取り入れ、必死に内容を理解しようとするのです。

また、子どもたちがつけている補聴器や人工内耳はすべての音を大きくするので、教科書のページをめくる音、机や椅子を動かす音、友だちの話し声等、近くにあるものの音から増幅されて耳にとびこみます。必要な音だけを選ぶことができません。そのために、机や椅子にテニスボールをつけ騒音を抑えたり、教師がFMマイクを使い、マイクから直接補聴器に



電波をとばしたりという手だてをしています。加えて、儀式、朝会、集会等、児童が集合する時の視覚支援（プロジェクターによる提示）は、聴き取りにくさを補うためにどうしても必要なのです。

しかし、それでも聞き間違ふことはあります。言葉を聴き取るときは、「耳に入ってきたことば」と「自分が知っていることば」とを照らし合わせ、その中から「耳に入ってきたことば」のより近いものを選択しようとしています。

きっと、誰だってそのようにしていると思います。

そして、「耳に入ってきたことば」が「自分の知っていることば」の中になかったり、今の話題が何であるかがわからなかったりすると、「耳に入ってきたことば」が聴き取りにくくなるのです。

心が通い合う《コミュニケーション》

難聴の子が交流学級で学習をしている様子を見ていると、隣の席の子がさりげなく教科書のページを指したり、顔を見ながら先生の指示を繰り返したりという場面に出会います。「わかったよ」というようにうなずき、お互いが笑顔で再び学習に向かう姿は心温まるものがあります。

4月のクラス替えの翌日、こんなことを言った女の子がいました。「先生は手話ができるから、きこえの教室の子とお話ができるいいね。」と。そこで、「お顔とお顔を合わせてお話したらわかるよ。手話でなくてもお話できるよ。」と話すとその女の子はパッと笑顔になりました。

数日後、身ぶりを交えながら、一生懸命話したり笑ったりする子どもたちを見かけました。もちろんあの女の子もいました。

「手話を覚えたい。教えて!」とたくさんの子どもたちが言ってくれ、とても嬉しく思っています。

意思を伝え合う手段として手話は確かに便利です。しかし、顔と顔を合わせて話したり、

同じものを見て一緒に笑い合ったり、文字(筆談)や身ぶりで伝えあったりすることも、心が通い合う大切なコミュニケーションの方法であると考えています。

《ことばの教室》について

《ことばの教室》には次のような子どもが通ってきます。

◎ 発音に課題の見られる子ども

「おかあさん」を「おかあたん」、「かめ」を「ため」のように発音するなど

◎ 話のリズムに課題の見られる子ども

「おおおかあさん」と最初の音を繰り返す、
「おーおーかあさん」とある音を引き伸ばすなど

◎ 言葉の発達に課題の見られる子ども

ことばの数が少ない、文が繋がらないなど

◎ その他、ことばに課題の見られる子ども

現在、「ことばの教室」には、14名の児童が、週に1回～数回、決められた曜日、時間に通って学習しています。校内通級以外に、南区にある他の小学校の児童が、放課後、保護者とともに通級して学習しています。

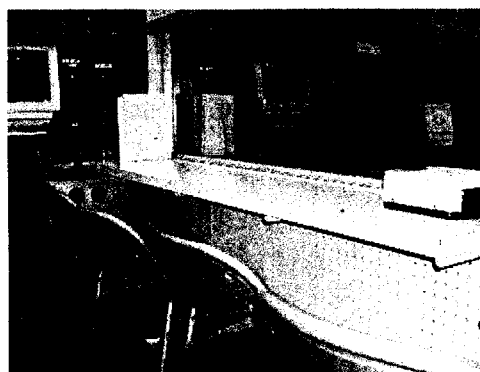
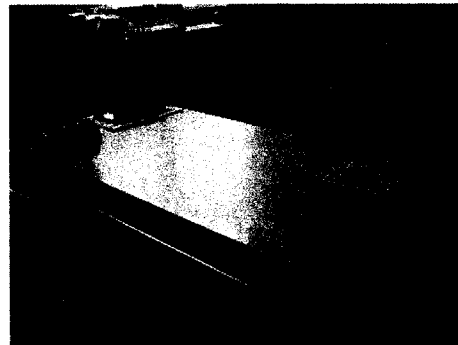
「ことばときこえ」のことで気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

ことばときこえの教室直通 ☎255-1949

【きこえの教室】



【ことばの教室】



※ ことばの教室もきこえの教室も2重窓になっており、壁面も音楽室と同じように小さい穴があいたボードが使われています。

※ 観察室は、ことばの教室ときこえの教室の間にあり、保護者や参観者が子どもの学習の様子を観ることができるようになっています。教室側は鏡になっているので、子どもの集中を妨げることはありません。